

**「舎生と共に考える」**  
**寄宿舎全体で取り組む**  
**ポジティブな行動支援**

# 舎生の実態

- 友達や指導員と関わるのが好き。
- 全体的な傾向として消極的で受け身になりがち。
- 自分の気持ちを伝えるのが苦手。



自分たちで考えて行動する場面が少ない。  
(指示待ちになりがち)

## 指導員の願い

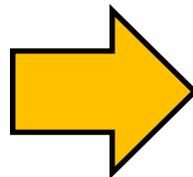
- ポジティブな行動支援を継続したい。
- 「寄宿舎の大切」を今年の舎生に合うものに見直したい。
- 舎生と一緒に考えることで舎生の主体性を伸ばしたい。
- 高等部2, 3年生がリーダーとなって、積極性や自信をつけて欲しい。

# 「寄宿舎の大切」作成

令和元年・令和2年

今年

|     | あいさつ   | 人の役に立とう   |
|-----|--|---|
| 朝   | <input type="checkbox"/> 適切な声の大きさで<br>あいさつをしよう         | <input type="checkbox"/> 食堂掃除をしよう                           |
|     | <input type="checkbox"/> 相手の方を向いて<br>あいさつをしよう          | <input type="checkbox"/> 積極的に廊下<br>掃除をしよう                   |
|     | <input type="checkbox"/> 「おはよう」とあいさつを<br>しよう           | <input type="checkbox"/> お手伝いをしよう                           |
| 下校後 | <input checked="" type="checkbox"/> 自分から「ただいま」と<br>言おう | <input type="checkbox"/> 連絡帳や手紙を<br>先生に渡そう                  |
|     | <input type="checkbox"/> 友だち同士で「ただ<br>いま」おがえりと言おう      | <input type="checkbox"/> 自室掃除をしよう                           |
|     | <input type="checkbox"/> 入室時「失礼します」と<br>言おう            | <input type="checkbox"/> スリッパやくつを<br>そろえよう                  |
| 余暇  | <input type="checkbox"/> 入浴後「ありがとう<br>ございました」と言おう      | <input type="checkbox"/> 余暇で使う物の<br>準備をしよう                  |
|     | <input type="checkbox"/> 洗濯物干し時「こん<br>ばんは」と言おう         | <input type="checkbox"/> 余暇で使った物の<br>片づけをしよう                |
|     | <input type="checkbox"/> 友だち同士で「おや<br>すみなさい」と言おう       | <input type="checkbox"/> 友だちに洗濯干しに行<br>こう「片づけよう」と声を<br>かけよう |



|     | 君の「いいところ」                                     |
|-----|---|
| 朝   | <input type="checkbox"/> 自分で起きよう チャレンジ        |
|     | <input type="checkbox"/> 友達どうして「おはよう」キャンペーン   |
| 下校後 | <input type="checkbox"/> 「ありがとう」キャンペーン        |
| 余暇  | <input type="checkbox"/> 先生に「おやすみ」キャンペーン      |
|     | <input type="checkbox"/> ねる前のスケジュールを守ろうキャンペーン |

・目標数を少なく!

・ ~しよう

~キャンペーン

~チャレンジ

## アドバイザーからの助言①

### ○目標を舎生と一緒に決める方法

- ①舎生だけで目標を考える。
- ②舎生と考えた目標と「寄宿舎の大切」のすり合わせ。
- ③目標を投票制で決める。
  - ※一人1票制または一人3票制。
  - ※投票はリーダーだけで行っても良い。

## アドバイザーからの助言②

### ○記録について

(ポイントを集める方法の場合)

①一日ごとの全体ポイント数を記録。

②記録をグラフ化して視覚的に評価。

③明確な行動変容がみられない舎生。

→ 個別にフォローする。

## アドバイザーからの助言③

### ○注意点

- ・「おまえのせいで完成しない!」という  
ピアプレッシャーが生じる可能性がある。  
指導員のフォローが必要!
- ・全員が同じレベルでできなくて良い。  
舎生に合わせて基準を変えて良い。

# リーダーとの話し合い①

みんながやりやすい  
のが良いな。

ルールは多すぎ  
て難しいかな。



## テーマ

- ・おたがいに気持ちの良い行動
- ・自立→日課の中で考えても良い
- ・よか活動

- ① あいさつ
- ② 起きる時間を守る
- ③ 朝起きてすぐ熱を測る 下  
~~早く寝る~~  
~~ルールを守る~~
- ④ ~~マスクをつける~~
- ⑤ ~~手洗い・うがい~~  
~~三密をさける~~

## 目標

『朝起きてすぐ検温する』

## リーダーとの話し合い②



7:10までに  
しょうか？



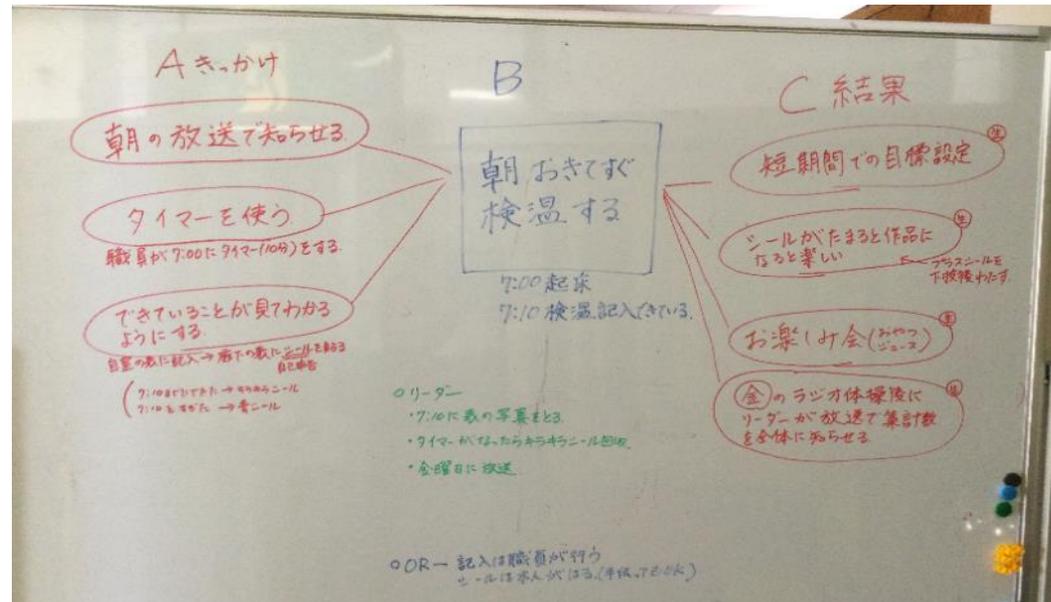
洗濯より前に測った方が  
良いんじゃない？

- 「寄宿舎の大切」をリーダーと共有。
- 目標の最終決定。

目標

『朝起きて7:10までに検温する』

# 指導員で話し合い



- リーダーが話し合った内容を指導員で共有。
- リーダーの意見をもとに手続きと結果を話し合う。
- 個別的なより手厚い支援が必要であると考えられる舎生への支援内容。

## リーダーとの話し合い③



- 指導員が話し合った内容をリーダーと共有。
- 取組み中のリーダーの役割について相談。
- 全体集会時の担当決め。

# 「舎生と指導員による話し合い」 の進め方

お楽しみ会  
のおやつ

リーダー会

集会の担当

次の目標数

指導員で話し合い

手続きの設定  
や調整

リーダー会  
の内容共有

指導員の話し合い  
内容共有

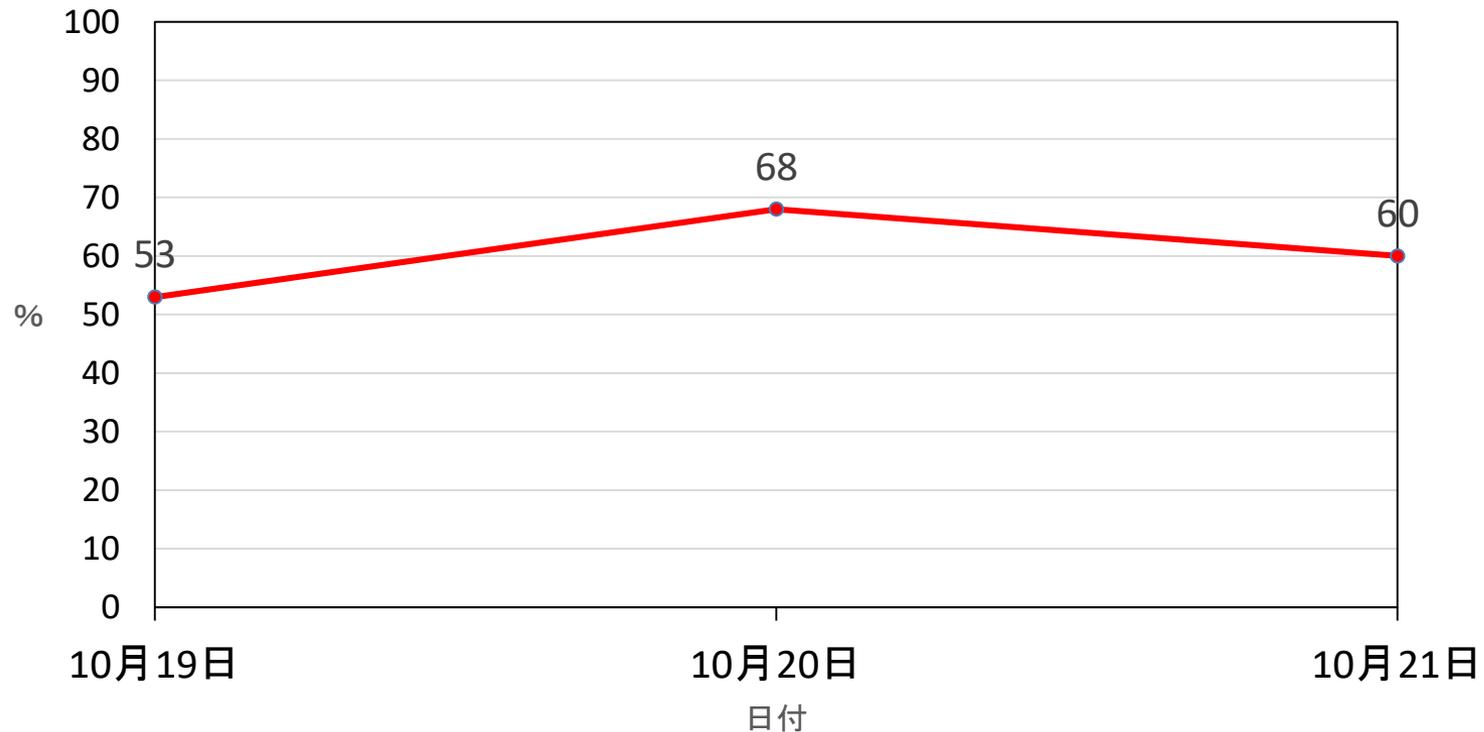
リーダー会

実践

# 朝の検温の実態

## 朝起きて7:10までに検温する

### 朝起きてすぐ検温する



# 指導の手続き

①全体集会で目標説明

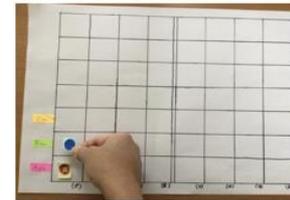
②起床の音楽と放送

7:00に10分タイマーセット  
7:05まで言葉かけ

③検温→検温表に記入



④記録表にシールを貼る



7:10までに○→ +プラスシール

7:10までに×→

⑤目標数達成

→ご褒美活動を実施

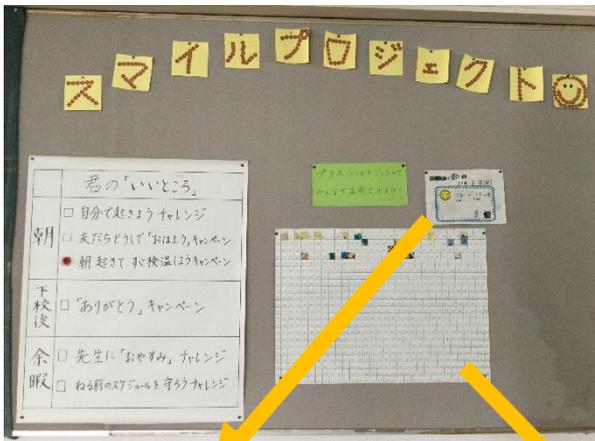


# その他教材

全体

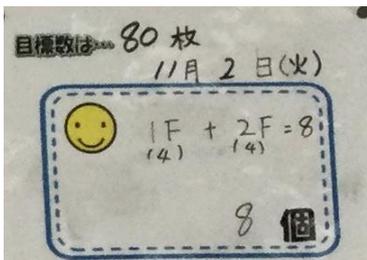
個人

シール表



目標提示

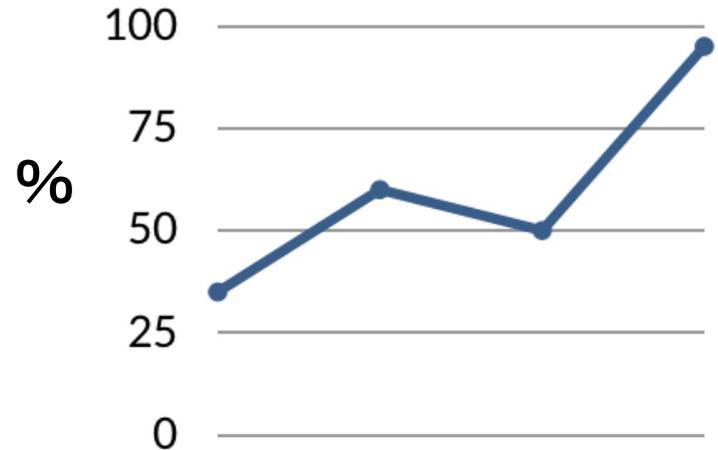
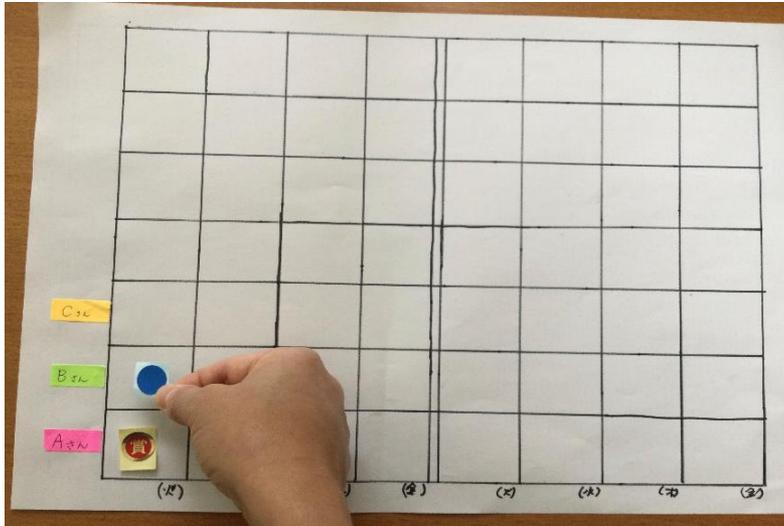
プラスシール



(1つの絵が完成)



# 記録方法と記録

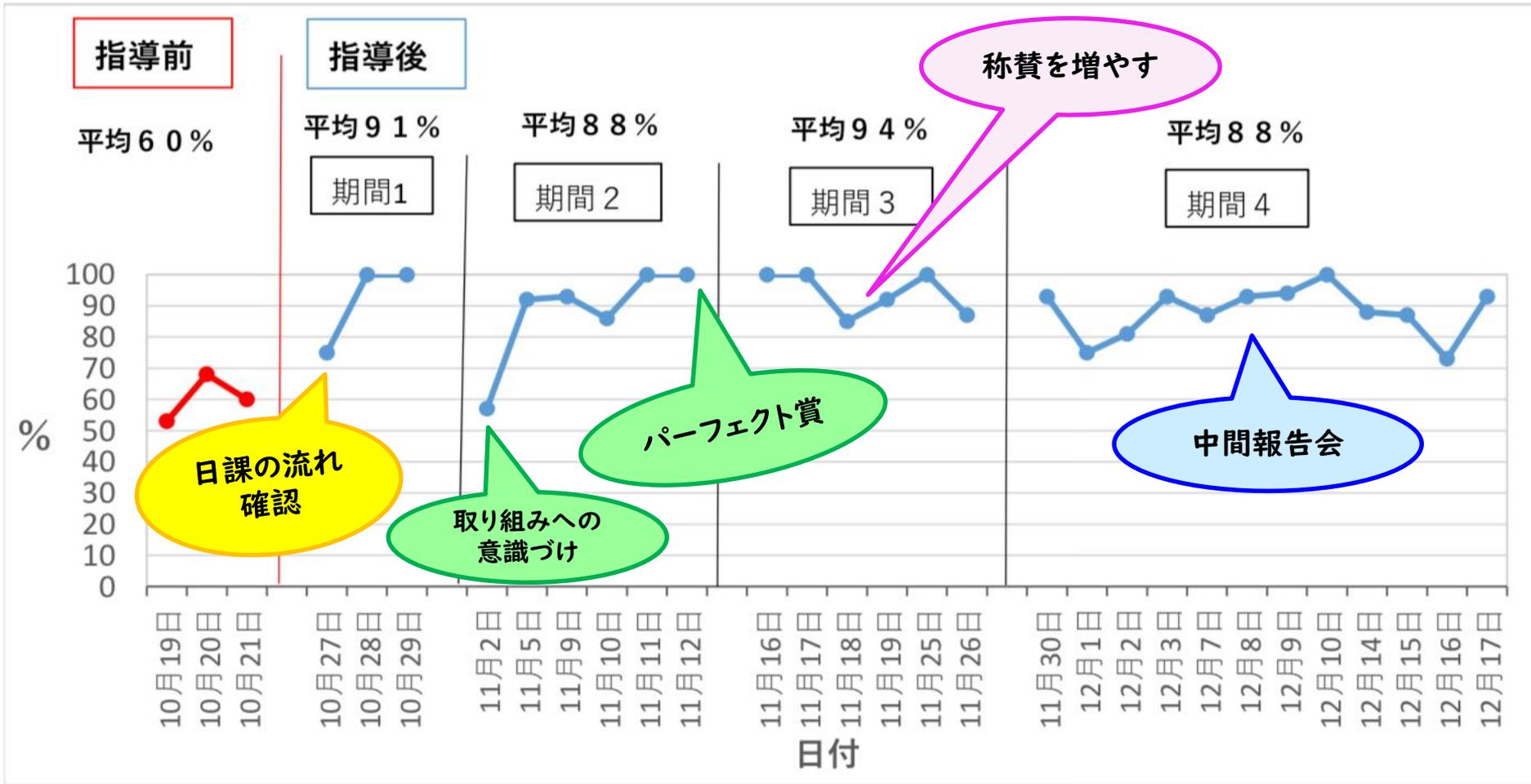


7:10までに○→

7:10までに×→

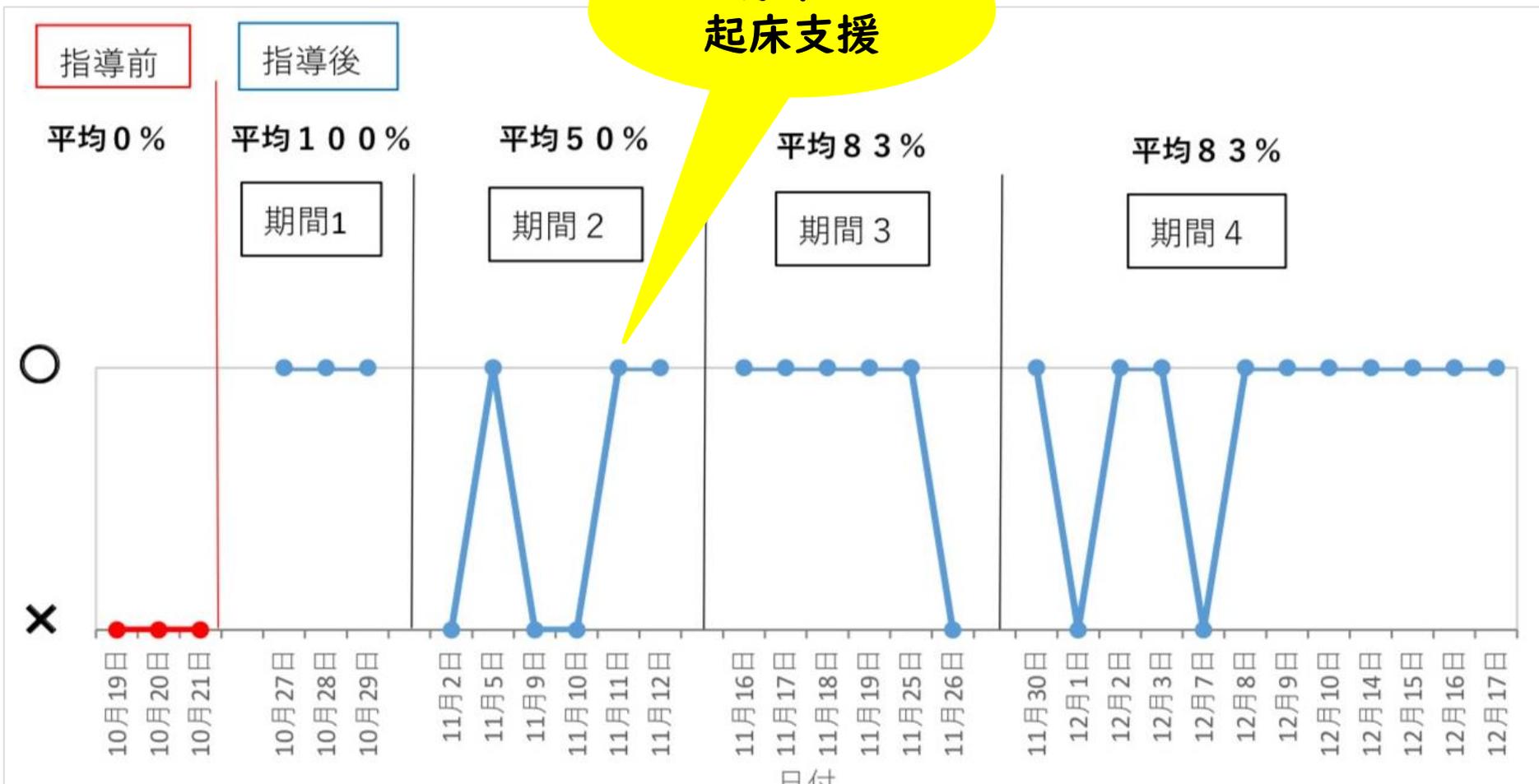
グラフ化  
 数 / 全体人数

# 取り組みの成果



目標:朝起きて7:10までに検温する

# Aさんの変化

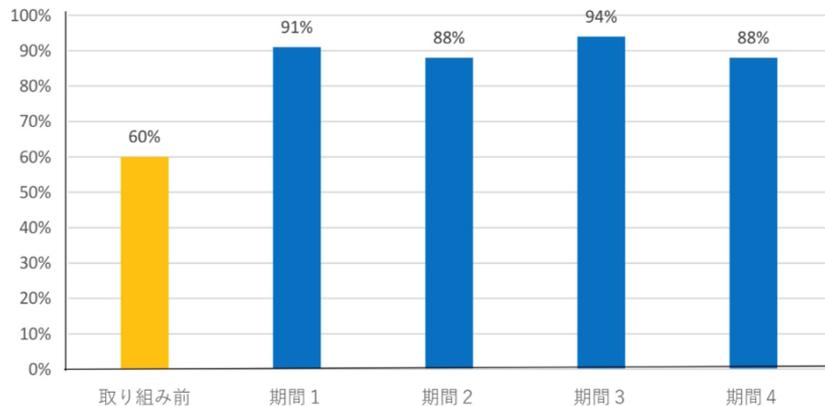


# 集会の様子

成果が見てわかるように  
グラフでフィードバック

合格シール継続舎生に  
パーフェクト賞で称賛

みんなの成果



パーフェクト賞

PRESENTED TO

殿

あなたは寄宿舍スマイルプロジェクトに於いて  
毎日朝起きてすぐに検温ができました。  
その成果を認め之を賞します。

令和3年11月15日  
寄宿舍職員一同

# リーダー活動を通して リーダーたちから出てきた意見

お楽しみ会がなくても  
できないといけないな。

集会が上手いかなかったから  
リーダー会をして欲しい!

達成できる目標数にしないと  
みんなのやる気が下がる。

プラスシールを渡す時間  
を決めた方が良い。

みんなの前で話すことに  
自信がついた。

# 舎生の取組み中の変化

自主的に検温できるようになった。

朝の活動が自主的にできるようになった。

体温の変化に自分で気付けるようになった。

友だちと声をかけ合い協力する姿が見られた。

起床が自発的にできる舎生が増えた。

朝から良い表情が増えた。

# ポジティブな行動支援に取り組んだ感想

## 舎生について

リーダーが発信することで、抵抗感なく取り組めていた。

少しサポートがあれば、自分たちで考え話し合えることがわかった。

舎生が意識して自主的に活動できることがわかった。

個人目標では嫌がる舎生も全体で取り組むことで抵抗感なく取り組めていた。

舎生から取り組みについて話すことが増えた。

舎生同士の関わり合いが増えた。

## 指導員として

ポジティブな行動支援で次の行動への意欲に繋ることがわかった。

今までできなかった事も、具体的目標や前向きな手立てによって結果が変わると感じた。

一つ称賛する事で、他の行動も良くなることがわかった。

褒める機会が増えた。

指導員の関わり方次第で子どもは変わることを実感した。

他の場面でも取り組めたら良いと思った。

少し「守らせなければ」というプレッシャーがあった。

# 今後の進め方のポイント

ご褒美

「減らす」→「評価の期間を延ばす」

指導員が感じる「きちんとさせないと」というプレッシャー

データをもとに長期的な変化を見る

合格者がもらえるプラスシールで作成した

# 階段アート

